

2018年11月1日

北海道知事 高橋はるみ 様

日本共産党北海道委員会  
委員長 青山 慶二  
日本共産党北海道議会議員団  
団 長 真下 紀子

## 燃油価格の高騰対策を求める緊急要望

原油価格の高騰により、道内では灯油価格が1ℓ当たり110円を超え、レギュラーガソリンが1ℓ当たり160円を超える地域も出るなど、およそ4年ぶりの高値に達したと報じられています。厳冬期を前に道民生活、とりわけ所得の少ない世帯には大きな負担です。また、農漁業やトラック業界など道内産業への影響も懸念され、北海道胆振東部地震や相次ぐ台風被害などの被災者に追い打ちをかける負担増となるものです。よって下記のとおり、北海道として万全の対策を講じるよう緊急に要望します。

### 記

- 1 地域づくり総合交付金（福祉振興・介護保険基盤整備事業）の予算を増額し、「福祉灯油」を実施する市町村に対し、更なる財政支援を行うこと。
- 2 2015年の住宅扶助、冬季加算の削減に続き、この10月から実施された生活扶助削減が、生活保護世帯の生活を直撃していることから、国に対し、緊急の支援策の実施を求めること。
- 3 クリーニング・トラック業界など、経済活動を行う上で、燃油価格高騰の影響が大きい関係業界・団体からのヒアリングと実態調査を行い、支援策を検討すること。
- 4 燃油価格の高騰については、一次産業（農業・漁業）への影響も大きいことから、国に対し、一次産業に係る燃油高騰対策の実施を求めること。
- 5 地震やブラックアウトで被害を受けた農業生産者に対し、更に追い打ちをかけるような燃油価格の高騰の問題が発生していることから、燃油負担軽減のための財政支援を行うとともに、畜産・酪農の飼料・輸入原材料の高騰や便乗値上げについて監視すること。
- 6 暖房用灯油の確保について被災者への特別の支援対策等を講じること。

以上